

研修事業実績

※長期研修を除く研修実績は全て遠隔研修実施分のみ記載

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道では、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市等の地方自治体や大学等のノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。また、寒冷地に位置する北海道の特徴を生かした研修なども行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	上水道施設技術総合:水道実務者向け実践編 (B) ※2020年度案件	課題別	7	スーダン、エチオピア、エジプト、モロッコ、ケニア	札幌市水道局、北海道国際交流・協力総合センター	21.8.13-21.9.17
2	上水道施設技術総合:水道実務者向け実践編 (B)	課題別	8	ブータン、ネパール、スリランカ、カンボジア、ペルー	札幌市水道局、北海道国際交流・協力総合センター	22.1.11-22.3.1
3	道路維持管理 (A)	課題別	7	アルメニア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.11.30-22.1.31
4	道路維持管理 (B)	課題別	4	モンゴル、メキシコ、カンボジア	札幌市建設局、北海道開発技術センター	21.11.4-21.12.23
5	道路維持管理 (E)	課題別	15	ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、ギニア、マダガスカル、セネガル、コンゴ民主共和国	北海道庁建設部、北海道国際交流・協力総合センター	21.11.1-21.12.10

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷（悪影響）を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚濁対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	森林リモートセンシング ※2020年度案件	課題別	7	マレーシア、ケニア、ウガンダ	酪農学園大学	21.9.1-21.10.28
2	森林リモートセンシング ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	5	ソロモン、ボツワナ、カンボジア	酪農学園大学	21.9.1-21.10.28
3	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	課題別	3	フィリピン、モンゴル	石炭フロンティア機構	21.10.4-21.12.17
4	固形廃棄物管理の基礎 (A) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	6	ホンジュラス、ニカラグア、ペルー	日本環境衛生センター	21.11.4-21.11.25
5	固形廃棄物管理の基礎 (A)	課題別	8	エルサルバドル、ニカラグア、パナマ、エクアドル、ペルー	日本環境衛生センター	22.1.7-22.2.5
6	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化 ※2020年度案件	課題別	3	東ティモール、マラウイ、カメルーン	酪農学園大学	22.1.17-22.2.18
7	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化 ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	2	ボツワナ	酪農学園大学	22.1.17-22.2.18
<帯広>						
1	自然環境行政官向けのエコツアーリズム	課題別	5	パラオ、ベトナム、モンゴル	釧路国際ウェットランドセンター	21.8.17-21.8.31
2	自然環境行政官向けのエコツアーリズム ※2020年度案件	課題別	2	ジョージア、ホンジュラス	釧路国際ウェットランドセンター	21.8.17-21.8.31
3	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	6	マラウイ、パキスタン、バブアニューギニア、ソロモン、ウガンダ	アジア航測株式会社	21.11.29-22.1.31

3	地域住民の参加による持続的な森林管理 ※2020年度案件	課題別	3	カメルーン、コンゴ民主共和国、ウガンダ	アジア航測株式会社	21.11.29-22.1.31
4	生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発	課題別	12	コロンビア、コスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ペルー	釧路国際ウェットランドセンター	22.2.8-22.2.18
5	生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発 ※2020年度案件	課題別	4	ベリーズ、コスタリカ、パナマ、ペルー	釧路国際ウェットランドセンター	22.2.8-22.2.18
6	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」	課題別	6	バングラデシュ、コロンビア、フィジー、インド、イラン、ネパール	アークコーポレーション株式会社	21.11.1-21.11.29
7	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」 ※2020年度案件	課題別	3	アルバニア、ガイアナ、ラオス	アークコーポレーション株式会社	21.11.1-21.11.29
8	保護地域協働管理を通じた生態系保全	課題別（補完研修）	10	メキシコ、パラグアイ、アルゼンチン、コスタリカ、ホンジュラス、ペルー	一般財団法人自然環境研究センター	22.1.19-22.1.27

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	アフリカ地域 地域保健担当官のための保健行政	課題別	6	モロッコ、チュニジア、エチオピア、リベリア、コートジボワール	旭川医科大学	22.1.17-22.2.10
<帯広>						
1	母子栄養改善 ※2020年度案件	課題別	7	カンボジア、ガーナ、インドネシア、ナイジェリア、シエラレオネ、タジキスタン	公益財団法人ジョイセフ	21.11.30-21.12.9
2	母子栄養改善	課題別	11	アフガニスタン、アンゴラ、ガーナ、グアテマラ、モザンビーク、ナイジェリア、ルワンダ、シエラレオネ、ザンビア	公益財団法人ジョイセフ	21.6.7-21.7.30 21.11.30-21.12.9
3	母子栄養改善	国別（上乘せ）	3	ナイジェリア、ルワンダ	公益財団法人ジョイセフ	21.6.7-21.7.30 21.11.30-21.12.9

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	地域開発計画管理 ※2020年度案件	課題別（補完研修）	8	ベトナム、シエラレオネ、北マケドニア共和国、タジキスタン、ウクライナ	国土交通省北海道開発局、日本国際協力センター	21.7.19-21.8.5
2	地域開発計画管理	課題別	3	ホンジュラス、北マケドニア共和国、ジョージア	国土交通省北海道開発局、日本国際協力センター	21.11.15-21.12.14
3	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	課題別	8	ドミニカ共和国、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、コロンビア	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
4	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	国別（上乘せ）	1	エルサルバドル	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
5	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	国別（有償上乘せ）	1	ブラジル	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
6	参加型地域開発のための地方行政強化（A）	課題別	7	ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、パナマ、コロンビア	はまなす財団	21.11.2-21.12.10
7	参加型地域開発のための地方行政強化（A）	国別（上乘せ）	4	ドミニカ共和国、グアテマラ	はまなす財団	21.11.2-21.12.10

8	参加型地域開発のための地方行政強化（A）	国別 （有償上乘せ）	2	ブラジル	はまなす財団	21.11.2-21.12.10
9	参加型地域開発のための地方行政強化（B） ※2020年度案件	課題別 （補完研修）	3	コートジボワール、シエラレオネ、コンゴ	北海道国際交流センター	22.1.17-22.1.20
10	参加型地域開発のための地方行政強化（B）	課題別	4	ネパール、マーシャル、バヌアツ	北海道国際交流センター	22.2.14-22.3.10
11	参加型地域開発のための地方行政強化（C）	課題別	8	ガーナ、コートジボワール、マダガスカル、シエラレオネ、モルドバ、ウクライナ	北海道国際交流センター	21.10.4-21.10.26
12	参加型地域開発のための地方行政強化（C）	国別 （上乘せ）	3	パレスチナ、イエメン	北海道国際交流センター	21.10.4-21.10.26
13	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	課題別	11	ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.9.3-21.10.7
14	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	国別 （上乘せ）	1	グアテマラ	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.9.3-21.10.7
<帯広>						
1	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転 ※2020年度案件	課題別	6	バングラデシュ、カンボジア、ウガンダ	一般社団法人北海道開発技術センター	21.8.23-21.9.6
2	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転 ※2020年度案件	国別（上乘せ）	3	インドネシア	一般社団法人北海道開発技術センター	21.8.23-21.9.6

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	農民主体型用水管理システム（A） ※2020年度案件	課題別 （補完研修）	6	ベトナム、ガンビア、マラウイ、ウガンダ	大雪土地改良区	22.1.13-22.1.20
2	農民主体型用水管理システム（A） ※2020年度案件	国別 （補完研修） （上乘せ）	1	ガーナ	大雪土地改良区	22.1.13-22.1.20
3	農民主体型用水管理システム（A）	課題別	3	ベトナム、スリランカ	大雪土地改良区	21.5.17-21.5.26
4	農民主体型用水管理システム（A）	国別 （上乘せ）	4	東ティモール、ネパール	大雪土地改良区	21.5.17-21.5.26
5	農民主体型用水管理システム（B） ※2020年度案件	課題別 （補完研修）	9	ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、マリ、セネガル	日本国際協力センター	21.11.8-21.11.11
6	農民主体型用水管理システム（B）	課題別	8	ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ	大雪土地改良区	21.7.26-21.8.5
7	農民主体型用水管理システム（B）	国別 （上乘せ）	1	ルワンダ	大雪土地改良区	21.7.26-21.8.5
8	農民主体型用水管理システム（C）	課題別	7	ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、モーリタニア	日本国際協力センター	21.7.30-21.8.31 22.2.1-22.2.4
9	農民主体型用水管理システム（C）	国別 （上乘せ）	2	コートジボワール、マダガスカル	日本国際協力センター	21.7.30-21.8.31 22.2.1-22.2.4
10	農民参加による農業農村開発（B） ※2020年度案件	課題別 （補完研修）	6	ハイチ、ブルキナファソ、中央アフリカ、チャド、ニジェール	北海道農業公社	21.11.30-21.12.2
11	農民参加による農業農村開発（B） ※2020年度案件	国別 （補完研修） （上乘せ）	1	マダガスカル	北海道農業公社	21.11.30-21.12.2

12	農民参加による農業農村開発 (B)	課題別	8	ハイチ、ブルキナファソ、ガボン、ギニアビサウ、ニジェール	北海道農業公社	21.9.13-21.10.6 22.2.24-22.3.1
13	農民参加による農業農村開発 (B)	国別 (上乘せ)	1	マダガスカル	北海道農業公社	21.9.13-21.10.6 22.2.24-22.3.1
14	中央アジア地域農民組織強化 ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	10	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン	アジア地域連携研究所	22.2.16-22.2.21
15	中央アジア地域農民組織強化	課題別	9	キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	アジア地域連携研究所	21.10.18-21.10.28 22.2.16-22.2.21
16	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発 ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	7	ベトナム、スリランカ、チュニジア、セーシェル	北海道大学	22.1.17-22.1.28
17	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	課題別	10	タイ、バングラデシュ、パプアニューギニア、ペリズ、ブラジル、ペルー、ケニア	北海道大学	22.2.14-22.3.4
18	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	課題別	12	ブルキナファソ、コモロ、ギニア、マダガスカル、コンゴ民主共和国、マリ	滝川国際交流協会	21.6.3-21.8.13
<帯広>						
1	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術 ※2020年度案件	課題別	5	ガボン、キルギス、ミャンマー、パレスチナ、東ティモール	一般社団法人The Earth Cafe	22.1.7-22.1.21
2	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術 ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	1	エチオピア	一般社団法人The Earth Cafe	22.1.7-22.1.21
3	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術	課題別	6	ブルキナファソ、ルワンダ、東ティモール、ベトナム、イエメン、ザンビア	一般社団法人The Earth Cafe	21.9.22-21.11.16
4	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~ ※2020年度案件	課題別	3	タイ、バングラデシュ、ミャンマー	十勝インターナショナル協会	22.3.1
5	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~ ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	1	タジキスタン	十勝インターナショナル協会	22.3.1
6	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	課題別	3	ブータン、ベトナム、マレーシア	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
7	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乘せ)	1	インド	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
8	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乘せ)	3	ネパール	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
9	バリューチェーンの整備を通じた農村振興 (畜産物の付加価値向上) ※2020年度案件	課題別	9	バングラデシュ、ボツワナ、ガンビア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、ウガンダ	国立大学法人帯広畜産大学	21.9.1-21.9.28
10	地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼養管理 ※2020年度案件	課題別	3	マダガスカル、スリランカ	十勝インターナショナル協会	21.5.17-21.5.25 21.10.5-21.10.6
11	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	課題別	2	エリトリア、ジョージア	十勝インターナショナル協会	21.10.20-21.11.24 22.2.24
12	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	国別 (上乘せ)	2	パキスタン	十勝インターナショナル協会	21.10.20-21.11.24 22.2.24
13	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (A)	課題別	6	キルギス、アフガニスタン、イラク、ブータン、マレーシア	インサイトマネジメント株式会社	21.6.1-21.6.18
14	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (B)	課題別	5	ボスニアヘルツェゴビナ、コートジボワール、コソボ、レバノン、モザンビーク	インサイトマネジメント株式会社	21.11.2-21.11.19
15	農業地域における経営力、マーケティング強化による地場産業振興 ※2020年度案件	課題別	6	アルバニア、キルギス、ネパール、北マケドニア共和国、ベトナム	インサイトマネジメント株式会社	21.10.18-21.10.22

16	売れる地場産品の開発―一村一品の実践― ※2020年度案件	課題別	3	コソボ、パラグアイ	一般社団法人北海道総合研究調査会	21.11.17-21.12.2
17	売れる地場産品の開発―一村一品の実践― ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	2	アルゼンチン	一般社団法人北海道総合研究調査会	21.11.17-21.12.2
18	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	課題別	8	カンボジア、ケニア、モンゴル、パキスタン、タジキスタン、バヌアツ	一般社団法人とちぎ地域活性化支援機構	2022.2.9-2022.3.15
19	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上 ※2020年度案件	課題別	1	アルメニア	一般社団法人とちぎ地域活性化支援機構	2022.2.9-2022.3.15
20	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成	課題別	10	ブラジル、コスタリカ、エルサルバドル、メキシコ、パラグアイ、ペルー	一般社団法人とちぎ地域活性化支援機構	2022.1.19-2022.2.16 ※事前学習 2021.11.24-2021.11.26
21	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	課題別	7	バングラディッシュ、モンゴル、フィリピン、タジキスタン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
22	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	2	インドネシア	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
23	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	3	スリランカ	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
24	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	3	ネパール	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
25	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	2	パキスタン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
26	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	1	バングラディッシュ	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
27	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	1	フィリピン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
28	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乘せ)	5	ブータン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
29	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (有償上乘せ)	2	インド	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
30	人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成 プレ・メイン	課題別	14	アルゼンチン、ボツワナ、ケニア、ナイジェリア、パレスチナ、パラグアイ、スリランカ、ウガンダ	国立大学法人帯広畜産大学	21.11.8-21.12.6 22.1.17-22.2.10
31	人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成 メイン *2020年度案件	課題別	6	エチオピア、キルギス、モンゴル、ウガンダ、タジキスタン	国立大学法人帯広畜産大学	22.1.17-22.2.10
32	（エチオピア）人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成	国別	6	エチオピア	国立大学法人帯広畜産大学	21.12.13-21.12.17
33	（パラグアイ）国農牧バリューチェーン強化プロジェクト第一回国別研修（パラグアイ）	国別	10	パラグアイ	かいほつマネジメント・コンサルティング	21.9.1-21.9.10
34	（キルギス）産官学連携による民間獣医サービス強化 ※2020年度案件	国別	8	キルギス	十勝インターナショナル協会	21.10.18-21.11.5
35	農民主導による普及手法～市場志向アプローチによる生計向上を目指した農民教育～	課題別 (補完研修)	3	ザンビア、マラウイ、ネパール	十勝インターナショナル協会	21.10.4-21.10.12
36	（ネパール）南アジア向け市場志向型農業振興 *パキスタン、ブータン、タジキスタン、スリランカ、バングラと合同	国別 (補完研修)	22	バングラデシュ、ブータン、ネパール、パキスタン、スリランカ、タジキスタン	JICA直営	21.7.6

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	児童の学び改善のための初等算数教授法 ※2020年度案件	課題別	10	ハイチ、ベナン、ブルキナファソ、ジブチ、ニジェール、セネガル	北海道教育大学	22. 2. 7-22. 3. 7
2	イノベティブ・アジア	国別 (短期)	8	ベトナム、カンボジア、パキスタン、マレーシア	北海道大学	22. 1. 31-22. 2. 28
<帯広>						
1	「子どもの学びを保障する」へき地教育の振興—SDGsの達成に向けて	課題別	7	ブルキナファソ、ヨルダン、ラオス、ネパール、シエラレオネ、ウズベキスタン	国立大学法人北海道教育大学	22. 2. 14-22. 3. 31
2	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～ ※2020年度案件	課題別	10	ナミビア、モルディブ、カンボジア、ケニア、ギニアビサウ、リベリア、エチオピア、モザンビーク	十勝インターナショナル協会	21. 11. 08. -21. 11. 19.

● 民間セクター開発

開発途上国の開発のためには、民間セクターの開発が不可欠です。民間セクター開発とは、開発途上国の民間企業の活力を利用して、国の経済発展をめざす支援です。JICAは「貿易・投資」「観光」「中小企業振興と産業技術の振興」「裾野産業の育成」という4分野で、開発途上国の民間企業の活性化を支援しています。JICA北海道では特に道内で輝く中小企業等の経営ノウハウを活かして、主に市場経済への移行経済下にある諸国を対象とした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	クラスター・アプローチによる産業振興 (A) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	13	モンゴル、レソト、ナイジェリア、ウズベキスタン、インドネシア、パレスチナ、チュニジア、エチオピア、ケニア、キルギス	北海道科学技術総合振興センター	21. 7. 1-21. 7. 7
2	クラスター・アプローチによる産業振興	課題別	11	インドネシア、モンゴル、メキシコ、パレスチナ、エジプト、チュニジア、エチオピア、レソト、ナイジェリア、ウズベキスタン	北海道科学技術総合振興センター	21. 11. 1-21. 12. 20
3	持続可能な観光資源管理・開発 (自然資源)	課題別	10	スリランカ、サモア、ドミニカ共和国、ジャマイカ、ボツワナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロ	はまなす財団	22. 2. 2-22. 3. 2
4	観光振興とマーケティング (C) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	5	ベトナム	はまなす財団	22. 2. 7-22. 3. 17
<帯広>						
1	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	課題別	13	アゼルバイジャン、アルジェリア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、モンゴル	インサイトマネジメント株式会社	22. 1. 12-22. 1. 25
2	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	国別 (上乘せ)	1	キルギス	インサイトマネジメント株式会社	22. 1. 12-22. 1. 25
1	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理 ※2020年度案件	課題別	8	アゼルバイジャン、カザフスタン、キルギス、モンゴル、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	22. 2. 1-22. 2. 4
3	(カザフスタン) 中小企業振興支援	国別	11	カザフスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21. 10. 25-21. 11. 12
4	(マレーシア) 動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発	国別	12	マレーシア	帯広商工会議所	22. 2. 15. -22. 2. 22.

● 水資源・防災

世界では急激な人口増加や経済発展などにより、水不足や水質汚濁、水災害など、水資源にかかわる問題がますます深刻化かつ多様化しています。JICAでは、利水、治水、水環境などの総合的な観点から、途上国の水資源問題の解決に取り組んでいます。また、途上国の人々の暮らしを直撃し貧困を深刻化させる災害に対しても、災害リスクを軽減するための支援を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						

1	中南米地域 火山防災能力強化	課題別	4	グアテマラ、ニカラグア	火山防災推進機構	21.10.28-21.12.2
2	アフリカ地域 村落飲料水管理 (A)	課題別	6	ブルキナファソ、ジブチ、ギニア、ニジェール、セネガル	アースアンドヒューマンコーポレーション	22.2.7-22.3.9

● 社会保障

開発途上国では、経済発展に伴い労働災害や職業病が増加している一方で、労働安全衛生、労働基準などの法制度や実施・監督体制の整備が不十分なために、労働に起因する被害を受けても、十分な補償が得られず、貧困状態に陥るリスクを抱えた労働者が大勢います。失業の増加や若年層の雇用の問題は、社会の安定にとって大きなリスクとなる可能性があります。JICA北海道では、北海道の事例を活用し、障害者自身が地域の発展の担い手となり、地域社会に根ざしたりハビリテーション、インクルーシブな開発を実践するための基礎を理解し、実践の手法を学ぶための導入的研修を通じ、参加者が活動する地域で、関連する機関や地域のリソースと協力した取り組みを支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<帯広>						
1	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B)	課題別	7	カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22.3.14-22.4.26
2	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B) ※2020年度案件	課題別	7	アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21.6.14-21.6.30 22.3.14-22.4.26

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

※研修員の来日時期が個別で異なる長期研修については、受入期間の記載を省略。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
<札幌>						
1	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト	長期 (SEED-Net)	2	カンボジア、ベトナム	北海道大学	
2	資源分野の人材育成プログラム (資源の絆)	長期	13	マラウイ、カンボジア、ザンビア、フィジー、インドネシア、ジンバブエ、ボツワナ、カザフスタン	北海道大学	
3	太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム (Pacific-LEADS)	長期	1	ミクロネシア	北海道大学	17.8.16-21.7.15
4	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)	長期	7	ケニア、ナイジェリア、ザンビア、ガーナ	北海道大学	
5	イノベティブ・アジア	長期	5	スリランカ、インド、フィリピン、マレーシア、タイ	北海道大学	
6	健康危機対応能力強化に向けた感染症対策グローバルリーダー育成	長期	10	ザンビア、コンゴ民主共和国、ガーナ、ナイジェリア	北海道大学	
7	インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト (FRIENDSHIP)	長期	6	インド	北海道大学	
8	SDGsグローバルリーダー・コース	長期	5	フィジー、ガンビア、ジョージア、ベナン、ザンビア	北海道大学	
9	食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net)	長期	3	カンボジア、ナイジェリア	北海道大学	
10	道路アセットマネジメント技術の中核人材育成	長期	1	ザンビア	北海道大学	21.4.1-24.9.30

11	超小型衛星による雷雲観測とそのデータの三次元解析	長期 (SATREPS)	1	フィリピン	北海道大学	19. 4. 8-22. 3. 26
12	マリカルチャビッグデータの生成	長期 (SATREPS)	1	インドネシア	はこだて未来大学	19. 5. 27-22. 3. 22
No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
<帯広>						
1	ABE2018・第5バッチ・帯広畜産大学	長期	2	コモロ、マダガスカル	JICE	
2	ABE2019・第6バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	マダガスカル	帯広畜産大学	19. 9. 23-22. 3. 18
3	(連携方式) ABE2020・第7バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ガーナ、ケニア、モザンビーク	帯広畜産大学	
4	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (アフリカ)・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	ジンバブエ、マラウイ	帯広畜産大学	
5	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	パラグアイ、ラオス	帯広畜産大学	
6	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究科・修士 (2021春)	長期	2	インドネシア、ウズベキスタン	帯広畜産大学	
7	(連携方式) ミャンマー農業セクター中核人材育成 (フェーズ2) 2020・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 10. 23-24. 3. 31
8	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (大洋州)・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	トンガ	帯広畜産大学	21. 8. 26-24. 3. 31
9	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021~2023年度)・2021年度・第8バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科 (修士課程)	長期	1	モザンビーク	帯広畜産大学	21. 11. 27-24. 9. 30
10	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究科 (修士課程)	長期	1	パラグアイ	帯広畜産大学	22. 2. 25-23. 9. 30
11	(連携方式) ミャンマー農業セクター中核人材育成 (フェーズ2) 2021・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 12-24. 3. 31
12	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学 (博士課程)	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 26-24. 9. 30
13	人材育成奨学計画・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	ミャンマー	JICE	22. 3. 19-24. 3. 31